

## 行仙宿煙突の防水と登山口の物置整備

◇実施日 8月5日(金) 曇り一時小雨

◇参加者 梶野照雄 1名

最近雷雨が局地的な豪雨をもたらしているので、行仙宿小屋のストーブの煙突が気になり、耐火シーリング材を用意して隙間塞ぎを行った。同時に補給路登山口のコンテナボックスに簡単な屋根を整備した。

7月3日に耐火パテで煙突の隙間を塞いだが、耐水性が無かったようで、その後の雨で再び隙間が広がっていた。今回は耐火シーリング材を準備して隙間塞ぎを行った。



行仙宿に到着



小屋根にハシゴを



耐火シーリング材

煙突が出ていている小屋根は屋根から70cmほどの高さがあり、上りに苦勞していたので、小さなハシゴを作って取り付けた。煙突の下部を塞いでいるフランジがいつも浮き上がっているので、セルフタップで4ヶ所を固定し、フランジ全体をシーリング材で埋めた。遠くで雷鳴が聞こえて、パラパラと雨が降り出したので、慌てて作業を終え小屋に避難した。



隙間を塞いだ

ストーブを掃除

雲海

雷雨は15分ほどパラパラと降っただけで収まり、その後は少し日差しもあるお天気になった。ハシゴを片付け、ストーブの灰を掃除して下山した。

登山口でコンテナボックス置き場に屋根を付ける。アルミで枠を作ってきたので、組立てトタン板をネジ止めした。

トタン板はサイズが大きく、少しはみ出している。金切りハサミを持ってこなかったため、次回、切って寸法を調節したい。

2m位の丸太を半割にし、前回切り残した丸太から3枚の板を切

りだした。



屋根の組立



組立終了



丸太を半割に



板を作る



林道の落石



林道途中の落石は大きくて、一人では動かすことが出来ず、小さな石だけを除け、木を切ってから国道に向かった。  
(記：梶野)

### 行動タイム

11:06 補給路登山口 → 12:02 行仙宿 14:00 → 14:26 補給路登山口  
15:40